

程度で殺滅する。

以上より、アセサイド6%消毒液のような過酢酸製剤は、軟性内視鏡等の短時間で高水準消毒が求められる医療用機器・器具の消毒に最も有用であると考えられる。

2. 医療分野における過酢酸

医療分野において過酢酸は、主に2つの目的で使われている。1つは内視鏡等の医療器具の消毒や滅菌で、他方は透析ラインの洗浄である。

2.1 アセサイド6%消毒液

アセサイド6%消毒液は、国内で唯一消毒剤として厚生労働省より承認を得ている過酢酸製剤である。製剤は主剤であるアセサイド第一剤と緩衝塩等を含むアセサイド第二剤から成り、消毒には第一剤と第二剤を混合し水で希釈したアセサイド実用液を用いる。調製直後の実用液は0.3%以上の過酢酸を含み、過酢酸濃度が0.2%を下回るまで繰り返し使用できる。繰り返し後の実用液も高水準消毒に値する効力を十分に有している(表-2)⁷⁾。過酢酸濃度のチェックには、専用の試験紙(アセサイドチェッカー)か、履歴管理に利用可能な濃度測定装置(写真-1)を用いる。効能・効果は医療用器具の消毒および化学的滅菌であり、軟性内視鏡のみでなく、過酢酸に耐性のある一般的な医療用器具にも使用できる。

2.2 内視鏡の消毒

過酢酸による内視鏡の消毒は、アセサイド6%消毒液より以前に、海外では1990年代に発売された専用消毒装置によって行われていた。また国内でも過酢酸が *Helicobacter pylori* や HIV に対し有効であり、内視鏡処理において有用であると報告されていた⁸⁾。

表-2 繰り返し使用時におけるアセサイド実用液の殺菌効果

供試菌	10回使用后 (チェッカー使用可)				33回使用后 (チェッカー使用不可)			
	30秒	1分	2分	5分	30秒	1分	2分	5分
<i>Mycobacterium tuberculosis</i>								
Smooth type	+	+	-	-	+	+	+	-
Rough type	-	-	-	-	+	-	-	-
<i>M. avium</i>	+	-	-	-	+	+	-	-
<i>M. intracellulare</i>	+	+	-	-	+	+	+	-

+: 発育, -: 発育なし
文献7)を一部改変



写真-1 サラヤ濃度測定装置 PMC-8000